

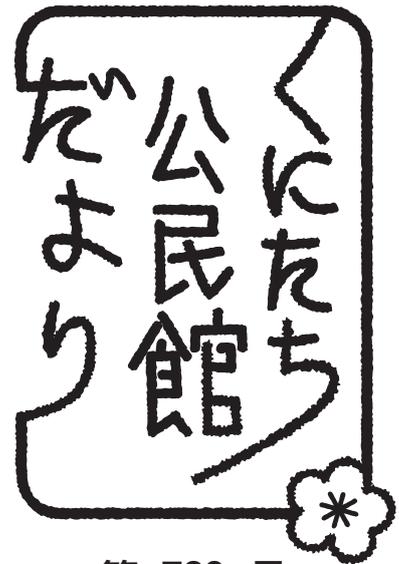
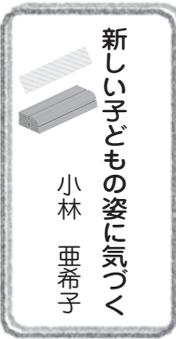
講座参加者の声

公民館では年間を通してさまざまな主催講座が行われています。今年度は新型コロナウイルス感染症に備えながらの実施となっておりますが、参加された方々に感想を寄せていただきました。講座の雰囲気を味わっていただければと思います。



まず、講師の説明を熱心に聞きます

小学校1年生の娘は、工作や絵を描くことが大好きです。今回の「親子で遊ぼう・考えよう」の講座はテーマが「スタンプとマスキングテープで夢のなる木を描こう」でしたが、どちらも娘の好きな材料ですし、なかなか出かけづらい今、親子で楽しい時間を過ご



第 729 号

2020年11月5日

(令和2年)

「くにたち公民館だより」
ホームページのQRコード▶



発行

国立市公民館

〒186-0004

国立市中1-15-1

TEL 042-572-5141

FAX 042-573-0480

休館日：毎週月曜日

せたらと初めて参加させていただきました。

当日は広いホールに、私たち親子を含め3組の親子と山田先生という何とも贅沢な空間でした。ずっと当日を楽しみにしていた娘は、

机の上に並べられた画材やマスキングテープを見て「わあ!!」と声を上げ早速手にとっていました。いきなり作品を作るのではなく、使うものを丁寧に説明していただいたり、小さなもの(葉っぱのスタンプ等)から作っていくことで、

新しい場所や人にも慣れましたし、夢のなる木へのわくわく感も高まっていった気がします。

講座の中で印象的だったことがあります。広葉樹や針葉樹の描き方を教えていただく場面があり、私は「こうやって描くとバランス

がよくなるんだなあ」と整った樹が描けたことに満足していたのですが、先生が「これはテクニク

で、お母さんたちにはこんな描き方もあるよとお伝えしますが、子どもたちはこんなテクニクを使わなくても、もっと素敵な樹が描けるので、むしろ教えない方がいいですよ」というようなことをお話ししてくださいました。(正確に覚えておらず少し違ったら申し訳ありません...) 大人になるとどうしたら上手にできるかというところが気になってしまいがちですが、子どもの作品に素敵だなと感じることが多いのは、テクニクではなく純粹にその時を楽しみ、描きたい!という思いが、そこに詰まっているからなのかなと改めて感じました。

今月の公民館 (11月・12月中旬)

- 12日(木)夜 くにとちブッククラブ
宇野千代『色ざんげ』
- 22日(日)朝～ 地域史講座
「新選組ゆかりの地を訪ねる」
- 27日(金)朝～ 母と娘のむすかしさ
- 27日(金)夜 くにとちブッククラブ
沼田真佑『影裏』
- 28日(土)朝 多文化共生事業
「新型コロナ禍と分断される世界をどう生きるか?」
- 28日(土)昼～ 一橋大学連携講座
4人の写真家との対話～光の波紋が残すもの～
- 12月19日(土)昼 図書室のつどい
「日曜俳句入門」

今後の動向により、開催の延期や中止など変更があった場合は、公民館入り口付近への掲示や、ホームページでお知らせいたします。ご不明の点はお問い合わせください。



公民館の状況▶
公民館 ☎ (572) 5141



マスキングテープで描いてみよう!

2時間はあっという間で娘も私も没頭してしまい、時間が足りなくなるほどでした。家事の合間やスマホ片手にはなく、娘とじっくり向き合っって、こんなこともできるんだ!と素敵な感性だなと新しい娘に気づく時間をくださった先生、講座に感謝致します。

娘も紹介してくださったブルーノ・ムナリーの絵本を眺めながら「楽しかったね。また行きたい!!」と張り切っています。これからも子どもも大人もわくわくするような講座開催を楽しみにしております。



一橋大学院生講座に参加して
榎田 智子

しばらく中断されていた公民館活動の再開を知り、早速申し込んだのが、院生講座「60年代以前のチェコスロバキア映画―ブラーチル『鳩』が映すもの」2回連続講座だった。1960年公開当時、冷戦の只中であって、西側の人々にも注目された実験性の強い作品とのことに興味を持った。60分程の白黒。ベルギーからドイツへの鳩レースの途中、コースを大きくはずれ、チェコ・プラハのアパートに迷い込みケガをした白鳩を助ける車イスの少年と、ドイツ・リューベックの浜辺でじつと白鳩の帰りを待つ少女の2つの物語が交互に映し出され、解決へと向う。1回目は、「台詞より画面で物語りたい」と言ったブラーチル監督による実験の具体例①構成主義的画面作り(アパートは、エレベ



スライドや映像を見ながら説明していただきました

ーターや中庭の構造で縦の線と緊張感を強調。浜辺は水平線の横と遠浅の見晴らしが、アパートとは対比的。登場人物の心理的キャラクター設定を画面で支える。②無声映画のような演出(見上げ、見おろし、近付き、様々に撮られたブツ切り画面をつなげる方法は、見る側が無意識に物語を読み取るうとするクレシヨフ効果をもたらす。)この2点につき解説があり、最初と前半重要部の数分ずつを実際に見た。正直なところ、全編上映はないと知り、受講の意味を考えたが、この2点の特徴は、私を強くひきつけ、その考えを消した。レーススタート地点は、ピラミッドより尖った頂点が天を突く黒々とした山(ポタ山?)で、物語に重要な空をくつきりさせた。無機物と光の関係を追及した構成主義の直球か。前半重要部は、モダンデザイン



院生講座講師の富重さん

のアパート中庭での白鳩救出劇の一部始終。黒猫から逃げたい、助けたいのブツ切りつなぎは、ハラハラを増幅させた。2回目では、終盤20分程を見せたいだけ、嬉しかった。憔悴していた濱辺の少女を、しつこい程になぐさめる青年の背景が、エキセントリックで私は好きだ。勤めは海辺の墓石屋らしい。で、書くが、この作品には、言いようのない暗さが、そこはかとなくたどる。空のベタさ?台詞の発声?役者の表情?音楽?すべて?少年を見守ってきた美術家は、回復した鳩を放せないでいる彼に業を煮やし、あろうことか、彼をモチーフに制作している彫刻の顔を切り取る。彼はそれを見て放す決心をするが、意外な展開に驚いた。台詞の少なさは、出来事をも強調した。浜辺で、白鳩の無事を知った少女の無上の喜びも協調されたの

には、ほっとした。講師の富重さんは、いわば転調するラスト3分を詳しく解説してくれた。白鳩が残した羽は、少し空想的に扱われ、屋上から撮られた古都プラハの街並みは、歴史の重層を残し美しい。関連事項として、ピカソの鳩と社会主義プロバガンダ等、当時の鳩問題を知って良かった。書ききれない有意義な時間に感謝します。



「はじめての銅版画」
を受講して
只木 早輝子

はじめてでも、銅版画(エッチング)を楽しみながら創ることができると言う『公民館だより』に惹かれて参加しました。銅版画とは、銅板に描いた絵を腐蝕させて版を作り、できた凹部にインクを詰めて紙にのせ、プレス機で刷って作る版画です。学生時代、美術が大の苦手だった私が作品を完成させることができるのか…不安な中、4回の講座がスタートしました。



プレス機を使って試し刷り

を、ニードルという描画用の道具を使いなぞります。ニードルは先の尖った小さいキリのような道具で、力加減が難しく、ボールペンくらいの筆圧がおすすです。講師の先生に描写の確認をしてもらいながら無事に描画が完成。ここまでは私も含めて皆さん黙々と作業し、かなり集中して取り組んでいました。

〈2回目 腐蝕、試し刷り〉
銅版画の線を出すために、塩化第2鉄に入れて銅板を腐蝕させます。腐蝕時間が長いほど深く強い線になり作品の仕上がりが変わってきます。そしていよいよ試し刷りの作業。銅板にゴムべらでインクを詰めて寒い紗でふき取りプレス機へ。ドキドキしながらプレス機のハンドルを回し、刷り上がった銅版画と対面!一番楽しい時間です。

〈3回目 加筆、腐蝕、本刷り〉

試し刷りで修正したい箇所を確認し、加筆したり、再度腐蝕します。そして、いよいよ本刷りに。いろいろな色に挑戦する人、1色にこだわって刷り上がりの完成度を高める人、皆一番良い作品に仕上げのため集中して作業しています。講師の先生や公民館の方が用意してくれたお茶を飲みながらリラックスして進めることができました。



納得いくまで作品と向き合います

〈4回目 作品完成、サイン、額装〉
出来上がった銅版画に、いよいよ自分のサインを入れて完成。サインを入れると、世界で1枚だけの銅版画はとても立派に見えます。自分で作った銅版画に大満足。作品が完成したことで達成感も得られました。

全4回の「はじめての銅版画」講座で、美術が苦手な私でも創作することが楽しく大好きになりました。

した。これからも、いろいろなことにチャレンジしていきたいと思っています。



私は大学2年生の夏から現在に至るまで、国立市公民館の学習支援「LABO☆く に スタ」(以下「LABO」)で学習支援者としてボランティアをしています。私は大学も家も国立市にはないため、LABOの存在を知りませんでした。が、とあることがきっかけでLABOに興味を持ち支援者の一員となることになりました。

それは、同じくLABOに在籍していた大学の同級生の紹介でした。現在、私は大学で主専攻である英語に加えて就職課程も専攻しています。その授業で一緒になった友達に声をかけてもらったのです。家庭教師や母校でのチューターとして働いており、英語教育に興味のあった私にとって、それは非常に魅力的な話でした。しかし、これまでに行政でのボランティアを経験したことがなかったので、多様な学習者に対応できるかどうか少し不安でもありました。しかし、そんな不安は実際にやってみ

てすぐに解消されることになりました。

まずLABOに入ってみて強く感じたことは、学習者の皆さんがとてもフレンドリーであることです。私自身アイドルなどのタレントが大好きなのですが、入ってすぐに同じジャンルの友達と友達になり、いつも歌番組やCDなどのタレントの話で盛り上がっています。もちろん話だけではなく勉強もしっかりとやっていますが、タレントの話を入り口として学習者との関係を築いて学校生活の相談に乗ることもあり、家庭教師や他のチューターでは体験できなかったことを今できていると感じています。

また、他の学習支援者の教育に対する意識の高さも非常に印象的です。私と同じように就職課程を専攻している人も多く、どの人も勉強を教える際にただ勉強を押しつけるのではなく、学習者の気持ち



学習をサポートする原田さん(左)



大学生が学習者に寄り添います

(ちに寄り添っていて、同じ支援者として参考にするべき箇所が非常に多くあると感じます。また、ある学習者が人間関係について悩んでいる際に、支援者一丸となってその子の悩みを少しでも解消する術や自分たちにできることを考え

中高生のための学習支援LABO☆く に スタ

—学習者と支援者の大学生、随時募集しています—

中高生の学習を大学生がサポート。「わかった！」と一緒にたどり着いていく……そんな居場所を目指しています。

- 日時：月3回程度、水曜日18：00～20：00
- 会場：公民館
- 詳細は公民館 ☎ (572) 5141 までお問合せください。

講座に参加される皆様へ

現在、公民館では、新型コロナウイルス感染対策として、すべての講座において人数の規模を縮小し、事前申込み制で実施しています。講座にご参加の際は、皆様が安心して学習ができますよう以下の点にご協力ください。

- ・自宅で検温してからお越しください。
- ・発熱や体調の悪い方は、参加をご遠慮ください。
- ・マスクを着用してください。

たことがありました。あくまで学習支援者なのでできることが限られており菌痒い思いをしましたが、支援者の生徒のために親身になって寄り添うその姿はとても尊いものであったと感じています。
近年では生まれた場所や環境による教育格差が問題になっていると授業で習ったことがあります。このような要因によって学習の機会が制限されているなどあつてはならないことですし、とても悲しいことです。LABOのように大学生が幅広い生徒と関係を築き学習の手伝いができる場所がもっと増えてほしいと強く願っています。



〈図書室のつどい〉

日曜俳句入門



お 話 吉竹 純

(コピーライター、俳句・短歌愛好家)

今ブームとなっている「俳句」は日曜俳句(新聞・雑誌・テレビ番組への投稿)という現象でも広がっています。

以前は一部の投稿者に限られていましたが、現在の投稿者は100万人とも言われています。

講座では新聞投稿の魅力、文壇での位置づけ、楽しみ方について紹介していただき、投句に対する姿勢、ヒントを知り参加者の方に投句を始めるきっかけとなればと思います。

*俳句の作り方に関する指導はありません。

〈吉竹さんの本〉

表題作(岩波書店)、『投歌選集 過去未来』(河合書房新社)、『日曜歌集 たび』(港の人)

と き 12月19日(土) 昼2時~4時

ところ 公民館 地下ホール

定 員 40名(申込先着順)

申込先 11月19日(木)朝9時~
公民館☎(572) 5 1 4 1

〈多文化共生事業〉

新型コロナ禍と分断される世界を どう生きるか?

講 師 内藤 正典

(同志社大学大学院グローバル・スタディーズ研究科教授)

新型コロナ禍は世界を覆っています。今こそ世界は国境を越えて連携してパンデミックに対処すべきですが、逆に、分断と排除が進んでいます。なかでも内戦、戦争により国家秩序が崩壊した中東・イスラム世界の状況は深刻です。

講座は二部構成で、前半は国境を越える人の移動、後半では西欧における反イスラム感情の高揚を市民の眼から捉え直し「共生」の課題を探ります。新型コロナと向き合うイスラム教徒の意外な知恵についてもお話しいたきます。

〈内藤さんの本〉

『外国人労働者・移民・難民ってだれのこと?』(集英社)、
『イスラームからヨーロッパをみる』(岩波新書)ほか

と き 11月28日(土) 朝10時~昼1時

ところ 公民館 地下ホール 定員 40名(申込先着順)

申込先 11月10日(火)朝9時~
公民館☎(572) 5 1 4 1

〈一橋大学連携講座〉

4人の写真家との対話~光の波紋が残すもの~

写真は時に社会や個人の記録であり、また時に写真家個人の作品でありながらも、実はそのいずれにも抵抗を示す独特で奇妙な媒体として発展して来ました。

世界の軌跡を光の波としてその表面にたたえる写真とは、写真家たちにとって力を秘め、時間を切り開き、また文学や絵画との共振を可能にするメディアでもあります。

今回の連携講座では気鋭の写真家および写真で制作を行う美術家をおまねきし、一橋大学言語社会研究科の大学院生とともに対話を行います。

写真家本人の写真や作品も公開しながら、実作者たちの思考を大学院生とともに掘り下げていく時間となります。受講者の皆さんとの対話時間もたっぷり設けた、双方向型の講座となります。

◆第1回:11月28日(土)

「写真家が書くこと」

講 師 川崎 祐(写真家)

◆第2回:12月20日(日)

「写真の力」

講 師 藤岡 亜弥(写真家)

◆第3回:1月17日(日)

「写真と時間をめぐる幾つかのこと」

講 師 仲宗根 香織(写真家)

◆第4回:2月20日(土)

「写真と絵画の間に・接近、露呈、腐食」

講 師 根間 智子(美術家・写真家)

モデレーター:

瀬川拓磨、松澤優、井上絵美子(一橋大学言語社会研究科)、松田潤(同研究科修了)

ナビゲーター:井上間從文(一橋大学言語社会研究科准教授)

時 間 昼2時~4時(全4回)

ところ 公民館 3階講座室

定 員 会場受講:15名、オンライン受講:10名

*いずれも、申込先着順。4回連続で参加できる方を優先。

申込先 11月13日(金)朝9時~26日(木)夕5時

会場受講:公民館☎(572) 5 1 4 1

オンライン受講:☒sec_kominkan@city.kunitachi.lg.jp

参加方法の詳細は11月27日(金)までにメールいたします。当日の参加者側の環境での接続や音声の不備についてのお問い合わせには対応できませんのでご了承ください。

母と娘のむずかしさ

講師 大美賀 直子 (メンタルケア・コンサルタント、公認心理師、精神保健福祉士)

母と娘。同性であるがゆえに心理的な距離が近く、だからこそ何だか少し難しい、と感じることはありませんか？「母娘関係が密着しすぎて息苦しい」「母の期待は嬉しいけれどプレッシャーも感じてしまう」「母となった自分が子どもとどんな関係性をつくっていけるか心配」「娘との関係がぎくしゃくしている」……想いや悩みは人それぞれ。母として娘として、母娘（おやこ）関係のしくみを学び、家庭の中で今起きている現象をふり返ってみましょう。母と娘が“ほどよい”家族関係を築くきっかけになればと思います。

主に20～30代の方や、幼いお子さんをお持ちの子育て世代の方へ向けたコース（金曜日）と、ミドル・シニア世代の方へ向けたコース（日曜日）がありますが、年齢は問いませんので、ご都合の良いコースに参加してください。

とき 20～30代、子育て世代向けコース
11月27日、12月4日、11日（全3回、金曜日）
ミドル・シニア世代向けコース
12月6日、13日、20日（全3回、日曜日）
いずれのコースも朝10時～12時。

ところ 公民館 3階講座室
対象 女性（年齢不問）
定員 いずれのコースも
15名（申込先着順）
申込先 11月11日（水）朝9時～
公民館 ☎ (572) 5 1 4 1



〈地域史講座・フィールドワーク〉

新選組ゆかりの地を訪ねる

新選組ゆかりの地としても知られる多摩。谷保の本田家は、日野石田の土方家と姻族関係にあり、幕末の11代定済（覚庵）の日記には若き日の土方歳三や近藤勇が登場しています。彼らは本田家に入入りするとともに、谷保天神辺りで剣術稽古をしていたと言われています。

今回の地域史では、そんな新選組ゆかりの地に因んで、第1回は、私たちの身近な地域での新選組に関するお話を聞きます。第2回のフィールドワークでは、土方歳三の生家でもある資料館に立ち寄り、受け継がれた貴重な史料やお話を伺った後、高幡不動尊までゆかりの地を歩きます。

秋の深まりを楽しみながら新選組のルーツを辿りましょう。

第1回 土方歳三と新選組のふるさと
～資料からみるその実像～（座学）

講師 高橋 秀之
（日野市立新選組のふるさと歴史館 学芸員）
とき 11月22日（日）朝10時～昼12時
ところ 公民館 3階講座室

第2回 フィールドワーク

とき 11月29日（日）朝9時～昼12時ごろ
集合 万願寺駅
解散 高幡不動尊にて解散予定
コース 万願寺駅→土方歳三資料館→石田寺→高幡不動尊など（3km程度）
※途中、土方歳三資料館を見学します。
入館料500円をご用意ください。

持ち物等 歩きやすい服装、飲み物、筆記用具
※少雨決行。ただし荒天の際は中止。
詳細は第1回目講座終了時にご連絡します。
協力 国立まなびあるきの会

定員 どちらも15名
（原則2回続けて参加できる方、申込先着順）
申込先 11月10日（火）朝9時～
公民館 ☎ (572) 5 1 4 1

〈くにたちブッククラブ 空間を超えて世界と向きあう文学〉

宇野千代『色ざんげ』

（岩波文庫）

講師 金井 景子（早稲田大学・日本近代文学）
とき 11月12日（木）夜7時半～9時半

金曜開催

沼田真佑「影裏」

（文春文庫）

講師 佐藤 泉（青山学院大学・日本近代文学）
とき 11月27日（金）夜7時半～9時半

ところ 公民館 地下ホール 定員 30名

申込先 公民館 ☎ (572) 5 1 4 1（今年度すでに申込済の方は申込不要です。）

*この講座はあらかじめ作品を読んできて、参加者が「読み」を出しあいます。そのあと講師のお話を聞きます。

一公民館の会場予約のご案内一

公民館の会場をより多くの団体が利用できるよう、会場調整の場を設けています。引き続き、3つの密を避けるため、ご協力をお願いいたします。

1月～4月（ロビーは2月～5月）の利用希望は以下の方法で、調整会へご参加ください。

★「公民館会場等使用調整会参加申込書」の提出

公民館1階入口正面の会場別ポストに参加申込書を入れてください。
ポスト投入期間は、以下の表(■今後の会場調整会)のとおりです。



申込書は、入口正面にあるポストに投入してください。

★ 重なりのある団体へのお知らせ

以下の表の日程で、会場別ポスト付近に掲示します。ホームページでもお知らせします。



▲QRコードからご確認いただけます。

★ 掲示のあった団体 …会場調整会への参加

調整会へは、できるだけ1団体1名、第1希望が取れなかった場合の別の候補日や会場を想定して、最終的な判断ができる方がご参加ください。(参加しなかった場合は、使用希望は取り消しとなります。)

★ 掲示のなかった団体 …本申込

…本申込

会場調整会翌日以降、
2階事務室へ本申込みに
お越しください。

★ 会場調整会後の予約方法

- ・ 2階事務室での受付…調整会当日の午後2時～
- ・ 電話での仮予約…調整会当日の午後3時～
- ※受付時間:午前9時～午後5時(月曜、祝日、年末年始を除く)

* 詳細や不明な点は、公民館までお問合せください。
* 会場調整会は、公民館利用者連絡会のご協力によって実施しています。

■今後の会場調整会日程

(※いずれも午前10時～)

使用希望月（ロビー）	申込書のポスト投入期間	重なり団体の掲示日	会場調整会※
1月（2月）	11月7日（土）～11月26日（木）	11月28日（土）～	12月5日（土）
2月（3月）	12月5日（土）～12月24日（木）	12月26日（土）～	1月9日（土）
3月（4月）	1月9日（土）～1月28日（木）	1月30日（土）～	2月6日（土）
4月（5月）	2月6日（土）～2月25日（木）	2月27日（土）～	3月6日（土）

公民館のQ & A

このコーナーでは公民館について一問一答形式で紹介していきます。
今回は新型コロナウイルスの感染防止における公民館の「会場利用」についてです。

Q 来館にあたり準備することはありますか？

A 必ず検温をしてお越しください。発熱37.5℃以上、咳、咽頭痛等の症状のある方は、来館をご遠慮ください。

また、過去2週間以内に感染拡大の地域や国へ訪問歴のある方も、来館をご遠慮ください。

Q 公民館で気を付けることはなんですか？

A マスクを着用してください。
また、石けん等による手洗いや消毒液による手指の消毒を行ってください。公民館正面入口にアルコール消毒液を置いています。

A 人と人との間隔は、最低1m（できるだけ2m）空けてください。

Q 会場を利用するうえで気を付けることはなんですか？

A 会場は、こまめに換気をしてください。（30分に1回5分程度、できるだけ2方向から換気をお願いいたします。）

A サークル・団体の代表者等は、参加者氏名と緊急連絡先を必ず把握し、保健所等から依頼があった場合は、参加者名簿を提示してください。

A カラオケや合唱等の飛沫の可能性が高い活動は、必ずマスクまたは、フェイスシールド等着用し、十分な距離（できるだけ2m以上）を保ってください。

Q 会場の定員に制限はありますか？

A 現在、定員目安は以下のようになっております。

ホール 43名	音楽室 10名	講座室 18名	集会室 15名
中集会室 10名	小集会室 5名	和室 10名	実習室 5名

A また、ロビーや図書室の椅子も、十分な距離を保つために減らしております。

Q 館内利用にあたって、時間の制限はありますか？

A ロビーと図書室は、なるべく30分以内のご利用にご協力をお願いいたします。

Q 公民館から帰って、気を付けることはありますか？

A 手洗い、うがい、手の消毒をすることで、新型コロナウイルスだけでなく、インフルエンザや風邪の予防になります。

公民館の緑化絵日記



▲てのひらサイズの
かわいいみかん

今年もみかんやジニアなど公民館の植物が元気に育っています。



▲ピンクと白、2色のジニアが咲いています

これらは、緑化ボランティアの皆さんが協力して作業を行っています。公民館にお越しの際は、季節の変化をお楽しみください。

公民館運営審議会報告

10月13日(火) 第32期第24回定例会を開催。於：地下ホール。委員13名、館長、職員2名出席。傍聴人5名。

前回事務録

○公民館だより編集研究委員会 10月号文化祭案内記事のオープニング式典の「※観覧はご遠慮ください」が来てほしいのかほしくないのかわからないの意見あり。
○社会教育委員の会 9月29日定例会で「職員の専門性の確保に関する事業」について（意見）を最終確認し、後日、教育長に提出。次回定例会は10月27日、「適切な事業評価方法について」（意見）取りまとめを開始。

社会教育委員の任期は4月までなので文書にて報告する。
○東京都公民館連絡協議会 10月24日委員部会研修会「緊急事態宣言後の公民館の在り方」講師・安藤聡彦氏）開催。今年度の都公連研究大会本大会は中止。課題別集会は検討中で、委員部会の第四課題別集会は1月24日にコロナ禍での公民館について事例発表を実施の方向。

協議事項
○第32期「活動のまとめ」表現や語句の修正を行い、最終確認。「だより」12月号に掲載予定
○各委員より任期満了の感想等
次期第33期公運審第1回定例会は11月10日(火)夜7時15分から傍聴歓迎。
(富田)

ひろば



—1月(ロビー)2月分) 会場調整会のお知らせ—

申込書のポスト投入期間	11月7日(土)～26日(木)
公用使用の貼り出し	11月11日(水)
予約の重なるのあった団体の掲示開始日	11月28日(土) ▶重なり状況 
会場調整会	12月5日(土)朝10時～

- ・予約の重なりのある、なしに関わらず、電話による連絡はいたしません。(ご不明な点は、公民館へお問い合わせください。)
- ・会場調整会へは、1団体1名の方が、手洗い・マスク着用等の感染症対策のうえ、第1希望がとれなかった場合の別の候補日も想定して、活動日を決定できる方がご参加ください。

公民館 ☎ (572) 5141

アクアかもめ水泳会員募集
運動不足の方、健康な体づくりに水泳を始めてみませんか。初心者～上級者、泳力別にコーチの指導を受けて泳ぎます。男女問いません。体験可。(無料)
日時 毎週金曜日 朝10時～12時
場所 総合体育館 室内プール
連絡先 中山 (577) 2063

数学を楽しむ集い(11月期)
面積に関するパズルや数学記号の歴史を御紹介します。数学の思いがけない使い方がお分かりいただけます。どなたでも気軽にお越し下さい。参加の方はお電話を。
日時 11月7日(土)21日(土)昼1時～
場所 公民館 集会室
連絡先 山本 (572) 1028

ガールスカウト東京都第145団
お友だちと楽しく活動しませんか?自ら考え行動する力を養います。年長～小学生少女募集。説明会開催します。要予約。
girlscouts.tokyo.145@gmail.com
日時 12月6日(日) 朝10時～12時
場所 福祉会館 中会議室
連絡先 高橋 (577) 4395

文化祭参加シンポ「コロナ禍と市民の学習権」公民館をまもる会
4・5月とほぼ2か月のコロナ閉館。こういうときこそ集い学びたかった!4つの報告を聞き可能性を考えます。申込先着順43名
日時 11月8日(日) 昼1時半～
場所 公民館 地下ホール
連絡先 田島 (576) 4015



〈しょうがいしゃ青年教室〉 陶芸講座作品展



陶芸講座の参加者が工夫しながら作った作品を展示します。作品展終了後は公民館の喫茶「わいがや」で使用されます。ぜひお越しください。

とき 11月7日(土) 昼3時～11月14日(土) 昼1時
ところ 公民館 1階市民交流ロビー

*陶芸講座は、くにたち郷土文化館で9月と10月に行いました。



〈サークル訪問349〉 フラトモの会

「フラダンスを一緒に踊りませんか、楽しいですよ」と、宇田川トモ子先生から開口一番のお誘いを受けました。先生は、何とも言えないしなやかさが際立っていて、フラダンスへの情熱を感じるお方です。

集会室は、机を隅に移動して中央を広く開け、メンバーを待つ状態です。

サークル名のHULAはハワイ語で踊るとい意味です。市内に2か所の練習場があり、公民館ではカイノア(10代から30代)が集まり、北市民プラザはレフア(40代から60代)が集まって練習しています。

先生のフラ歴は35年。優雅な手の動きやハワイの大地を尊ぶ神聖なハワイアンメロディに強く魅かれたそうです。

そんなお話をしていると「こんにちは」と元気に、4人の女性が入ってきました。高校3年生から25歳のメンバーです。そして素足になると、手際よくTシャツとパウスカートというハワイと同じスタイルのレッスン着に着替えステップを踏み始めました。1曲目は腰を落とした基本のステップです。次の曲では、テンポアップして、花や波を表す手の動きと複雑な足運びが加わります。綺麗な所作に

魅了されます。

何度も発表会を経験した優秀な4人です。入会はなんと、6、7歳の頃。途中退会し、また戻ってきたメンバーもいます。「感情表現ができること」「人前で踊れること」「非日常が体験できること」が好きです」と話してくれました。最後に写真を撮りました。かけ声はWAIKIKI。素敵なお顔が輝きました。それではALOHA。メンバー募集中。

日時 月3回木曜日 夕6時20分
場所 公民館 集会室
連絡先 神保090 (176) 4637
〈文・写真 山根浩子〉



全員で「花」のポーズ



気分はHAWAII